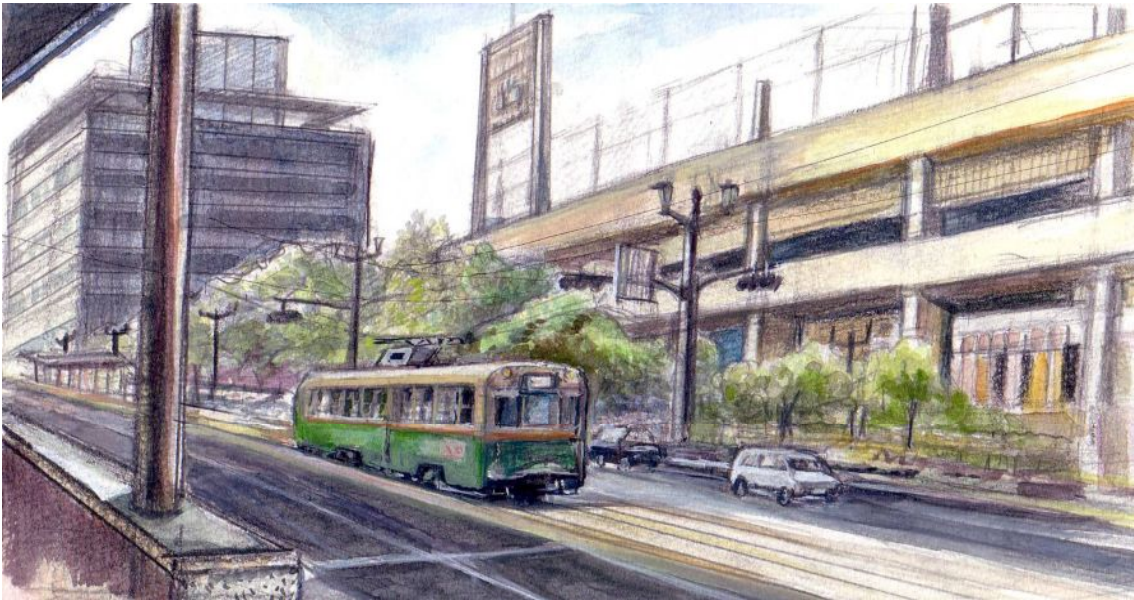


所報

平成23年度

NO.96



広島市教育センター

Hiroshima City Education Center

題 字

狩小川小学校校長 高野 和博

表 紙 絵

安佐北高等学校教諭 谷原 弘樹

はじめに

近年における教職員の年齢構成の変化、社会状況や子どもの変化等を背景として、学校教育に対するニーズの多様化・高度化はますます進んでおり、各園・学校では教職員一人一人の資質能力を一層高めることや、組織としての学校に求められる人材を育成していくことが、喫緊の課題となっています。



こうしたことから、教育センターでは、研修の機会を体系的、計画的に提供するとともに、各園・学校の校内研修や教職員一人一人の自己研修を支援し、広島市の新しい教育を実現するために必要となる教職員の資質能力の向上を目指し、取組を展開しています。

教育センターにおける研修については、経験年数に応じた研修や、職務に応じた研修を実施し、研修した内容が日々の教育実践において生かされるよう研修内容の充実を図るとともに、学校づくりのための人材育成に係る研修を行うことで、教育活動を円滑に推進し組織を動かすことのできる人材の育成に向けて、その充実を図っています。

また、各園・学校で行う校内研修への支援については、教育センターの指導主事が年間を通じ、各園・学校へ出向き、授業研究を推進するための校内研修の継続的な支援を行っています。

さらに、自己研修の支援としては、教育情報を収集・整理し、教育センター内部Webページを通して提供しています。また、月1回の土曜開館や毎週金曜日（長期休業期間中を除く）の開館時間延長を実施することで、研修の場と機会を提供しています。

これからも、各園・学校と連携を図りながら、教育課題の解決、教科・領域等における学習活動の充実、行政施策の推進などの研究を行うことで、各園・学校の教育活動のさらなる充実・向上を目指して取組を進めていきます。

今後とも、教職員には不断に最新の専門知識や指導技術等を身に付けていく「学びの精神」がこれまで以上に必要となっており、教育公務員として、その職責を遂行するために絶えず研究と修養に努められることを期待しています。

教育センター事業

1 基本方針－人材育成－

基礎・基本の確実な定着を図るとともに、規範性・感性・体力・コミュニケーション能力の4つの力を「まちぐるみ」ではぐくむ広島らしい新しい教育の実現に向け、研修・研究、教育情報の提供などを通して、教職員一人一人に生涯にわたって必要とされる資質能力の向上を図り、学校の教育力を高める人材を育成する。

〔生涯にわたって向上させるべき資質能力〕

仕事に対する使命感や誇り

子どもに対する愛情や責任感

常に学び続ける向上心

- 教育者としての使命感
- 教職に対する愛着，誇り，一体感
- 幼児・児童・生徒に対する教育的愛情
- 広く豊かな教養
- 豊かな人間性
- 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力
- 教育公務員としての高い倫理観

授業力

- 人間の成長・発達についての深い理解
- 教科等に関する専門的知識
- 実践的指導力
- 子ども理解力
- 教科指導，生徒指導等のための知識，技能及び態度
- 授業研究に係る知識・技能

カリキュラム開発力

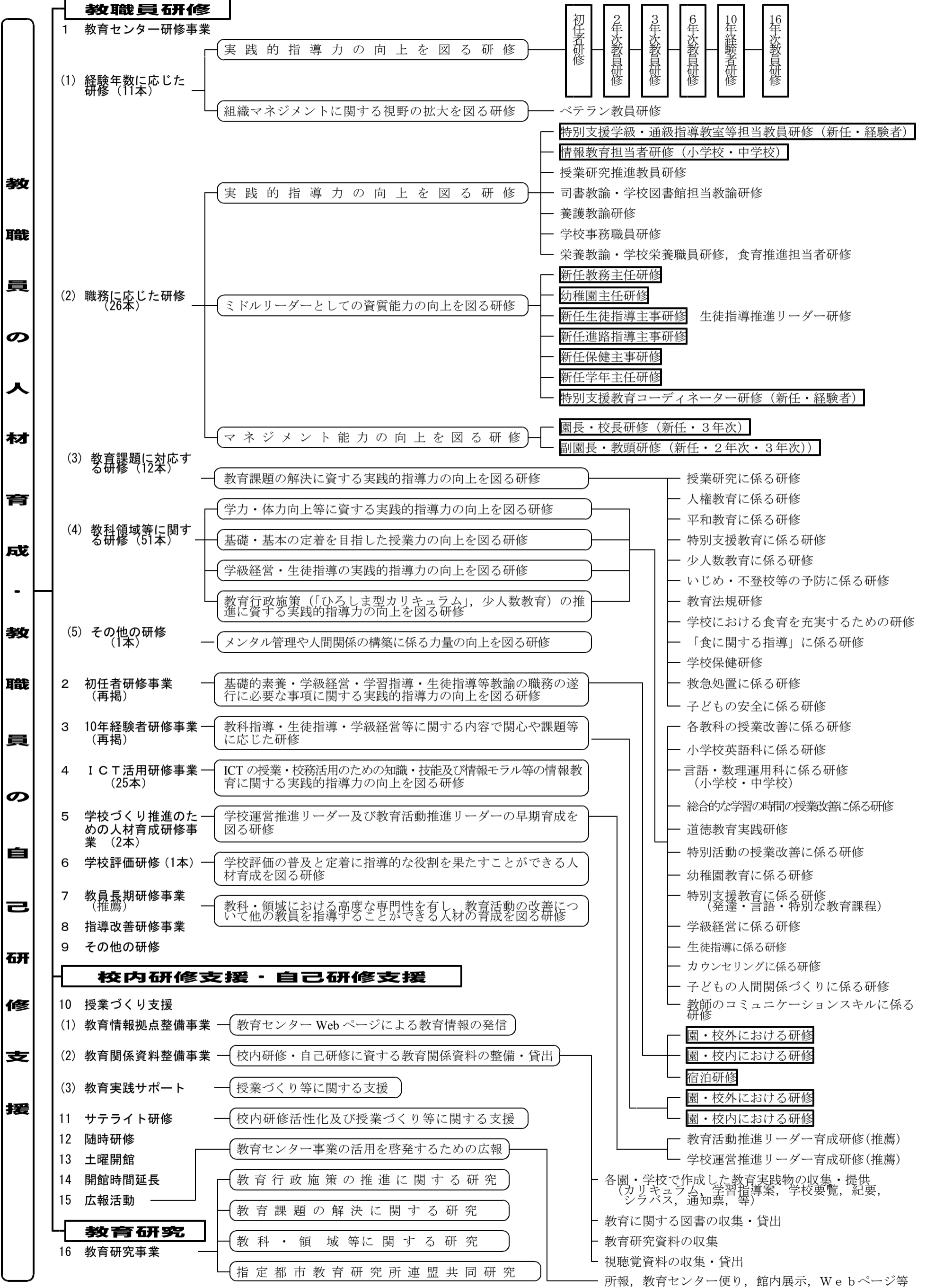
- 教育の在り方に関する適切な理解
- 教育課題の解決に資するシラバス・年間計画の作成に係る知識・技能
- 学習プログラム開発に係る知識・技能
- 教材・教具の開発に係る知識・技能

学校組織マネジメント力

- マネジメントに係る知識・技能
- 教育関係法規についての理解と活用能力
- 人間関係づくりに係る知識・技能
- コーチングに係る知識・技能
- メンタル管理に係る知識・技能

2 事業体系

□ : 対象者全員が受ける研修



3 研修計画

教職員歴		0年	5年	10年	15年	20年	25年	30年
		【職務能力の形成】	【職務能力の向上】	【職務能力の充実】	【職務能力の発展・円熟】			
に各と個 おキし々 けるヤの るリ教 教職ア職 員ステ 像ー員 ジと織 しの て一		○教育実践の基礎・基本を身に付け、積極的に教育実践に取り組む教職員	○教育実践の基礎・基本に立ち経験を生かして教育実践の工夫改善に努めながら教育実践に取り組む教職員	○教育実践の経験を生かして得意分野づくりや個性の伸長に努めながら創造的に教育実践に取り組む教職員	○得意分野をもち個性を発揮しながら創造的に教育実践に取り組む教職員	○得意分野や個性を生かしながら広い視野に立って、教育実践を積み重ねていく教職員	○得意分野や個性を生かしながら広い視野に立って、総合的に教育実践を積み重ねていく教職員	○得意分野や個性を生かしながら広い視野に立って、総合的に教育実践を積み重ねていく教職員
		○学校組織の一員としての自覚をもち、校務遂行の基礎・基本を身に付け、積極的に担当業務の遂行に取り組む教職員	○学校組織の一員としての自覚を深め、校務遂行の工夫改善に努めて、担当業務の遂行に取り組む教職員	○学校組織のリーダーとしての自覚をもち、校務の状況掌握に努めて、創造的に組織を運営していく教職員	○学校組織のリーダーとしての自覚を深め、校務の状況掌握に努めて、創造的に組織を運営していく教職員	○学校組織のリーダーとしての自覚を深め、校務の状況掌握に努めて、創造的に組織を運営していく教職員	○学校組織のリーダーとしての自覚を深め、校務の状況掌握に努めて、創造的に組織を運営していく教職員	○学校組織のリーダーとしての自覚を深め、校務の状況掌握に努めて、創造的に組織を運営していく教職員
教育 センター に お け る 研 修	指 定 研 修	初任者研修 新規採用幼稚園教員研修 新規採用養護教員研修 2年次教員研修 3年次教員研修 6年次教員研修 10年経験者研修 16年次教員研修						新任教頭・副園長研修 2年次教頭・副園長研修 3年次教頭・副園長研修 新任校長・園長研修 3年次校長・園長研修
	研 修				特別支援学級等新規担当教員研修 特別支援教育コーディネーター研修 情報教育担当者研修	新任教務主任・新任学年主任研修 新任生徒指導・新任進路指導・新任保健主事研修 幼稚園主任研修		
研 修	一 般 研 修						※ベテラン教員研修	
	研 修					教務主任・学年主任研修 生徒指導主事・進路指導主事・保健主事研修 授業・保育研究推進教員研修		
研 修	研 修					学校栄養職員・学校事務職員研修 司書教諭・学校図書館担当教諭研修		
	研 修					養護教員研修 学級経営実践基礎研修 ※ひろしま型カリキュラムの推進に係る研修（小学校英語科、言語・数理運用科） 教科指導等研修 教育課題研修（教育課程、生徒指導、教育方法等に関する課題についての研修） 少人数教育・ひろしま型カリキュラムの推進に係る研修 学級経営に係る研修 いじめの問題に係る研修 ICT活用研修		
教員長期研修					※教員長期研修			
短期集中研修					※教育活動推進リーダー育成研修	※学校運営推進リーダー育成研修		

※ 所属長の推薦が必要となる研修

※「指定研修」：各対象者の全員が受ける研修

「推薦研修」：所属長の推薦等が必要となる研修

「一般研修」：各自が選択希望して受けることのできる研修

4 研修

(1) 教育センター研修

◎ 広島らしい新しい教育の推進・充実、及び教育関係職員の課題解決や得意分野づくりに結びつくための研修を行います。

ア 経験年数に応じた研修〔11本〕

教職経験に応じて、教師として求められる資質能力を総合的に形成、向上、充実、拡充するために行う研修

- 初任者 2年次教員 3年次教員 6年次教員 10年経験者
 16年次教員 ベテラン教員

イ 職務に応じた研修〔26本〕

職務内容に応じて、職務遂行に必要な資質能力や実践力を高めるために行う研修

- 主任・主事
 新任教務主任、幼稚園主任、新任生徒指導主事、新任進路指導主事、新任保健主事、新任学年主任
 職務別
 特別支援学級等（新規）担当教員、（新任）特別支援教育コーディネーター、情報教育担当者、
 授業研究推進教員、司書教諭・学校図書館担当教諭、養護教諭、学校事務職員、
 栄養教諭・学校栄養職員
 管理職
 新任副園長・教頭、2年次副園長・教頭、3年次副園長・教頭、
 新任園長・校長、3年次園長・校長

ウ 教育課題に対応する研修〔12本〕

教育実践上の課題を解決するために必要な資質能力を高めるために行う研修

- 授業研究 人権教育 平和教育 特別支援教育 少人数教育
 いじめ・不登校等の予防 教育法規 食育の充実 食に関する指導
 学校保健 救急処置 子どもの安全

エ 教科領域等に関する研修〔51本〕

子どもの「生きる力」をはぐくむために必要な指導力を高めるために行う研修

- 各教科 小学校英語科 言語・数理運用科 総合的な学習の時間 道徳教育
 特別活動 幼稚園教育 特別支援教育 学級経営 生徒指導
 カウンセリング 子どもの人間関係づくり 教師のためのコミュニケーションスキル

オ ICT活用研修〔25本〕

教育実践等に活用できるコンピュータの技能を高めるために行う研修

- コンピュータ校務活用 学校Webページ作成・管理 情報モラル教育
 ICT授業活用（フラッシュ型教材／プレゼンテーション／デジタルカメラ／電子黒板等ICT等）

カ その他の研修〔1本〕

新しい見方や考え方に触れることにより、教育関係職員としての生活をより充実したものにするために行う研修

- メンタルヘルス

(2) 初任者研修

◎ 新任教員に対して、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、幅広い知見を得させ、使命感を養い、実践的指導力を育成します。

ア 教育センター等における研修（年間20日）※幼稚園（年間4日）

- [共通研修] 服務研修 教育実践基礎研修 施設・他校種等訪問参観研修 等
 [選択研修] 随時研修 施設等訪問研修 他校種視察・参観研修 等

イ 宿泊研修（2泊5日）※幼稚園（2泊5日）

- 事前研修会 ・グループワークトレーニング
 宿泊研修会 ・課題解決のためのグループワーク ・レクリエーションの理論と実践

ウ 在勤校における研修（年間180時間程度）※幼稚園（10日程度）

- 基礎的素養 学級経営 学習指導 生徒指導

(3) 10年経験者研修

◎ 学習指導・生徒指導・学級経営等における、自己の得意分野を自覚するとともに、各分野における指導力を高めます。

ア 校外における研修（12日、幼稚園7日）

- [共通研修] ○ 全体での研修・・・全校種に共通する今日的な教育課題及び学習指導、生徒指導、学級経営等に係る専門的事項について研修する。
○ 校種別での研修・・・学習指導、生徒指導、教育相談等に係る当面する実践上の課題及びその解決の方途について研修する。
[選択研修] ○ 対象者の個々の関心や課題に係る専門的事項について研修する。

イ 校内における研修（15日、幼稚園10日）

- 学習指導、校務運営、教育課題等に係る専門的事項について、授業実践や校務実践、文献研究等を通して研修する。
○ 共通研修の内容を校内研修会等で紹介する。

(4) ICT活用研修

◎ ICTの授業活用・校務活用のための知識・技能及び情報モラル等の情報教育に関する実践的指導力等を育成します。

ア ICT授業活用の推進に係る研修（18本）

- フラッシュ型教材授業活用 ○ プレゼンテーションソフト授業活用 ○ デジタルカメラ授業活用
○ 電子黒板等ICT授業活用 ○ ここから始めるICT授業活用 ○ 情報モラル教育
○ ICT授業活用実践

イ 校務の効率化に係る研修（7本）

- コンピュータ校務活用－Excel・Word編－ ○ 学校Webページ作成・管理

ウ 情報教育担当者の育成に係る研修（2本）

- 小学校情報教育担当者 ○ 中学校情報教育担当者

(5) 学校づくり推進のための人材育成研修

◎ 管理職の補佐としての学校運営推進リーダー及び中堅の教育活動推進リーダーを育成します。

ア 学校運営推進リーダー育成研修（共通研修：8日、所属校における個別実践研修：9月～2月）

- 組織マネジメントに関する講話・講義・演習 ○ 学校管理運営に関する演習 ○ 個別実践研修 等

イ 教育活動推進リーダー育成研修（共通研修：6日、教育センター等における随時研修：9月～12月）

- 教育指導上の課題解決のための実践演習（授業研究、特別支援教育の推進等）

(6) 教員長期研修

◎ 教科・領域における高度な専門性を有し、授業（保育）実践を分析・評価し、教育活動の改善について、他の教員を指導することのできる人材を育成します。

ア 教科・領域において高度な専門性を有するための研修

- 学習指導要領、ひろしま型カリキュラム ○ カリキュラム開発 ○ 実践授業（保育）

イ 授業（保育）実践を的確に分析・評価する力を有するための研修

- 授業（保育）分析 ○ 授業（保育）評価 ○ 授業（保育）リフレクション

ウ 他の教員の指導に必要な資質能力を有するための研修

- 人材育成のためのマネジメント ○ コーチング ○ 研修及び若手教員等の指導

5 校内研修・自己研修支援

(1) 教育情報の収集・整理・提供

ア 内部Webページ（教育情報拠点整備）

◎ 市立学校ネットワーク内に内部Webページ、テレビ会議、動画配信等の機能を構築し、内部Webページを活用して、学習指導等を充実させるための教育情報の提供を行います。

(7) 提供する機能と教育情報等（市立学校を対象とする）

- 動画配信（研修や授業の動画データや収集した動画データ）
- テレビ会議（テレビ会議システムを用いた多地点テレビ会議）
- 教育情報の提供（イントラネットによる公開用内部Webページ）
- 教育センター研修等の様子、受講者の声の随時配信

(4) 情報処理技術者の活用

- 教育情報拠点の維持・管理
- 教育情報拠点利用校への技術的支援及び研修や随時研修の支援

イ 図書資料室整備・授業づくり支援（教育関係資料整備）

◎ 校内研修・自己研修に資する教育関係資料の収集・整備・貸出を行います。

(7) 各園・学校で作成した教育実践物の収集・提供

- カリキュラム
- 学習指導案
- 学校要覧
- シラバス
- 研究紀要
- 通知表

(4) 教育に関する図書の収集・貸出

- 教育図書、一般図書
 - 法規
 - 政府刊行図書（主として文部科学省著作物）
 - 教科書
 - 年次図書
 - 教育雑誌、新聞類
- ※ 貸出は、個人が1人5冊まで2週間以内、団体が1団体10冊まで3週間以内

(5) 教育研究資料の収集

- 教育研究資料（研究紀要・研究集録、要覧・学校記念誌、教育課程及び指導計画関連資料、各教科・領域等に関する資料、文集・作品集・資料集、研修テキスト・資料 等）

(2) 視聴覚資料の収集・貸出

- 視聴覚資料（ビデオ教材、被爆体験・戦争体験証言ビデオ 等）
- ※ 貸出は、個人・団体ともに3点まで1週間以内

ウ 広報活動

(7) 広報紙の発行

◎ 教育センターが収集した今日的な教育活動についての情報、日々の教育実践に役立つ情報、教育センターの効果的な活用に関する情報等について、『教育センター案内』、『所報』等を通してお知らせします。

(4) Webページ

◎ 教育センターが収集した今日的な教育活動についての情報、日々の教育実践に役立つ情報、教育センターの効果的な活用に関する情報等について、Webページに掲載することで、逐次、お知らせします。

(5) 館内展示

◎ 教職員の作品を展示することで、館内に、美的で潤いのある雰囲気生まれています。

◎ 教育センターが収集している今日的な教育活動についての情報、日々の教育実践に役立つ情報、教育センターの効果的な活用に関する情報等について、ロビー、3階の授業づくり・カリキュラム開発フロア（授業づくりコーナー等）、研修室で紹介しています。

(2) 教育情報の活用の場の提供

ア 随時研修

◎ 教職員の自己研修や教育委員会関係課等の研修を支援するため、研修施設・機器の貸出を行います。

イ 土曜開館

◎ 教職員の自己研修を支援するため、土曜セミナーの開催、教育実践に関する相談への対応、研修施設・機器の貸出等を行います。

(7) 土曜セミナーの開催

- 教科指導（国語科，算数科，数学科，小学校英語科，中学校外国語科） 特別支援教育
 人間関係づくり ICT活用 自己啓発

(4) 教育実践に関する相談への対応

- 授業づくりや学級経営及びICT活用等に関する相談への対応

(7) 研修施設・機器の貸出

- 図書資料室，授業づくり支援コーナー，教科書センター，各研修室を活用した自己研修支援

ウ 平日の開館時間延長の試行

◎ 教職員の自己研修を支援するため、研修機会の提供や教育実践に関する相談への対応、研修施設・機器等の貸出等を行います。

エ 教育実践サポート

◎ 電話や来所等により、教育実践に関する相談への対応を行います。

オ サテライト研修

◎ 指導主事が年間を通じて各学校に出向き、各学校の授業研究推進の状況に応じて校内授業研究推進のための指導・助言及び支援を行います。

(7) 研修の内容例

- 校内授業研究の進め方と評価について
 校内授業研究協議会の進め方について
 学習指導案検討
 研究授業及び付箋紙を活用したワークショップ型の授業協議会の実際等
 研究のまとめ方について
※『授業研究ハンドブック』『授業研究ハンドブックⅡ』『授業研究ハンドブックⅢ』の記載内容に基づく



2階 玄関ロビー
(教科・領域等に関するコーナー)



3階 ロビー
(授業づくり支援コーナー)

6 研究

(1) 指導主事による調査・研究

- ◎ 市立学校・園の教育実践に即した先行的な調査・研究を行うことにより、緊要な教育課題の解決と市立学校・園の教育活動の充実・向上に資するため、指導主事が次のような研究を進めます。

ア 授業研究の改善に係る実践的研究

サテライト研修の記録を分析し、授業研究の改善に有効であったと思われる支援事例を整理する。さらに、指導主事の参考資料として、授業改善のための支援事例集を作成する。

イ 校内における人材育成に関する基礎的研究

「授業力の向上」を人材育成の柱に据えた「若手教員育成のための体制づくり」の容易性と実施状況の関係について明らかにし、若手教員自身の力量向上に向けた意識についてまとめた先行研究の成果と合わせて、「若手教員の意識」・「場（機会）の設定」・「支援者」から成る「人材育成モデル仮説」を立案する。

ウ ICT授業活用に関する実践的研究

サテライト校の校内研修等を通して学校体制として、ICTの授業活用にどう取り組めばよいのかを示していくものとする。実践事例の収集については、情報教育担当者を中心に行いコンテンツ化し、教育センター内部Webページに掲載し、校内研修での活用が図れるようにする。



(平成21年度 研究成果物)



(平成22年度 研究成果物)



(2) 指定都市教育研究所連盟による共同研究

- ◎ 指定都市教育研究所連盟の第16次共同研究に参加し、共同研究を行います。

ア 児童生徒の意識や実態に係る調査研究

- 指定都市の子どもたちの姿や思いを探る
 - 生活や学習に関する継続調査・過去における調査結果との比較を通して—
 - (児童生徒の学校・家庭・地域社会等における実態や意識について調査・研究をする。)

7 教育センター内部Webページ

○ ともに見つけ、ともに歩む教育センターの校内研修・自己研修支援

すぐに授業で活用できる教材をダウンロードすることができます。



研修を受けられなかった方も、研修ビデオをご覧いただけます。

図書資料室・授業づくりカリキュラム開発フロア（3階）

教育センターの研修で発表された実践授業の学習指導案や、各



カウンターに貸出簿があ

貸出
書籍：1人5冊まで2週間
ビデオ：1人2本まで1週間
返却
書籍は一度に3冊までなら学校のメール便でも返却できます。ビデオは破損防止のため、ご持参ください。

サテライト研修

指導主事が年間を通して各学校に出向き、各校の状況や

H23年実施校（計26校）
広島特別支援学校 二葉中 戸坂城山小 東浄小 温品小 荒神町小

H22年度

内部WEBページへのアクセス



半角数字で
192.168.9.12/

教育センターで行われた研修の概略や、写真、受講者

お知らせ

- 小・中学校情報教育担当者研修で作成した研修プランをこちらからご利用いただけます。
- 小学校英語科で活用できる英単語カード(音声付き)をこちらからご利用いただけます。
- 平成23年度「研修案内」「研修カレンダー」を更新しました。「研修案内」はこ

本日の教育センター主催研修等

- 10/19(水) 初任者研修
- 新規採用学校栄養職員研修
- 学校国語科授業改善研修(基礎)(高学年)が行われます。

センターニュース

実施日：平成23年10月3日(月)
【平成23年度研究員入所式】が行われました。

ICT授業活用

- 各教科の指導事例
- 教育用素材 地域素材
- 学習内容別リンク
- 学年別リンク
- テレビ会議
- パワーポイント教材 NEW
- フラッシュ型教材 NEW

研修案内

- 研修案内
- 各研修のお知らせ及び提出書類の様式等
- 研修TOPIX
- 研修カレンダー
- 研修ストリーミング
- 研修講座作成物
- 若い教員に伝えたい授業・保育の知恵と技

特別支援教育

- 特別支援学級に関する情報
- 通級指導教室に関する情報
- 通常の学級で支援を必要とする子どもに関する情報
- 相談機関・特別支援教育に関する情報
- 障害種別
- 広島市教育委員会刊行物
- やってみよう！つまづきから考える支援 NEW

資料検索

教育研究資料の検索

教員用図書
教育用ビデオ
図書資料の検索

センター紹介

- センター案内
- 施設利用案内
- 研究報告
- 所報
- リーフレット

校務活用

- カリキュラム開発等
- 学校評価
- シラバス
- ICT校務活用
- 成績処理ソフト
- 調査書等作成ソフト

広島市立学校研究会一覧

- アンケート集計システム

教育実践サポート

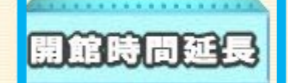
電話や来所により、授業づくり等についての相談を受け付けています。

土曜開館	平日の開
開館予定日 4/23, 5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17, 10/22, 11/19, 12/17, 1/21, 2/18, 3/17	5/6~7/15, 9/2~12/16, 1/6~3/2 ※金曜日の午後8時まで

土曜セミナー(9:00~11:30)

土曜開館にあわせて、経験年数1~3年目の先生方を中心に授業改善や自

- ①6/18 「授業でICTを活用してみよう」
- ②7/16 「エンカウンターを生かした人間関係づくり」
- ③8/20 「中学校外国語科(英語)の授業づくり」
- ④9/17 「やってみよう！つまづきから考える支援」
- ⑤10/22 「先生のためのプレゼン講座」
- ⑥11/19 「算数科の授業づくりのポイント」
- ⑦12/17 「小学校英語科の授業を変える！」
- ⑧1/21 「数学科の授業づくりはここから」
- ⑨2/18 「国語科の授業を楽しもう」



平成23年度 教育センター研修講師一覧 (50音順)

※職名は平成23年4月現在

氏名	所属	職名	研修名
浅野 良一	兵庫教育大学	教授	経験2年次副園長・教頭研修
石原 一彦	岐阜聖徳学園大学	教授	小・中学校情報教育担当者研修 情報モラル教育研修
伊藤 圭子	広島大学	教授	小学校家庭科授業改善研修
内野 悌司	広島大学	准教授	教職経験2年次教員研修 教職経験6年次教員研修
岡野 美紀	尾道市立栗原幼稚園	園長	幼稚園主任研修
岡島 進	広島市医師会	医師	学校保健研修
大西 恵子	キャリア・コンサルタント		学校事務職員研修
岡田 隆介	こども療育センター	心療部長	(新任)特別支援教育コーディネーター研修 カウンセリング研修
柿岡 玲子	安田女子大学	准教授	幼稚園教育実践研修
梶矢 文昭	ひろしまを語り継ぐ教師の会		初任者研修 新規採用幼稚園教諭研修 新規採用学校栄養教諭研修
勝部 奈美	臨床心理士		教師のためのコミュニケーションスキル演習(基礎)(発展)
亀川 和典	中国新聞社	N I E 推進会 議事務局長	教職経験2年次教員研修
亀井 悦子	こども療育センター	聴能言語科長	特別支援教育指導研修(言語障害)
木岡 一明	名城大学	教授	新任副園長・教頭研修
北神 正行	国士舘大学	教授	学校運営推進リーダー育成研修
北原 延晃	東京都港区立赤坂中学校	教諭	中学校英語科授業改善研修(発展)
小西 勝巳	株式会社ヒューネット	代表取締役	経験3年次園長・校長研修
後野 文雄	京都府総合教育センター 人材育成支援室	スーパーバイザー	学校運営推進リーダー育成研修
小原 友行	広島大学	教授	小学校社会科授業改善研修(発展) 中学校社会科, 高等学校地理歴史・公民科授業改善研修(発展)
小山 正孝	広島大学	教授	中学校数学科授業改善研修(発展)
財津 伸子	比治山大学	講師	10年経験者研修
榊原 禎宏	京都教育大学	教授	10年経験者研修
佐藤 暁	岡山大学	教授	特別支援教育コーディネーター研修(新任)
澤田 章子	オフィス・インテグラル		10年経験者研修
澤本 和子	日本女子大学	教授	教育活動推進リーダー育成研修 授業研究に係る研修 授業研究推進教員研修
白根 佳雅	オタフクソース	常務取締役	経験3年次副園長・教頭研修
杉山 雅彦	あかつき心理相談研究所	教育学博士	10年経験者研修 養護教諭10年経験者研修

氏名	所属	職名	研修名
鈴木 明子	広島大学	准教授	中学校技術・家庭科（家庭分野）、高等学校家庭科授業改善研修
鈴木 由美子	広島大学	教授	小・中学校道徳教育実践研修
李木 明德	広島文教女子大学	教授	特別支援教育コーディネーター研修（新任・経験者合同）
曾余田 順子	プロコーチ		新任副園長・教頭研修
高橋 泰道	広島文教女子大学	教授	小学校理科授業改善研修（基礎・発展） 中・高等学校理科授業改善研修（基礎・発展）
竹田 契一	大阪教育大学	名誉教授	特別支援教育コーディネーター研修（新任・経験者合同）
田中 秀樹	広島国際大学	教授	メンタルヘルスに係る研修
谷川 攻一	広島大学	教授	救急処置に係る研修
田村 義典	社団法人全国市有物災害共済会中国支部	支部長	新任園長・校長研修
津島 ひろ江	川崎医療福祉大学	教授	養護教諭研修
坪倉 ひふみ	こども療育センター	医師	特別支援教育指導研修（発達障害）
中原 忠男	環太平洋大学	教授	高等学校数学科授業改善研修
鍋島 一仁	中国生産性本部 主任コンサルタント		10年経験者研修
難波 博孝	広島大学	教授	小学校国語科授業改善研修（発展） 中学校国語科授業改善研修（発展） 高等学校国語科授業改善研修
林 孝	広島大学	教授	教育法規研修
福森 武	株式会社サタケ	取締役副社長	教育活動推進リーダー育成研修
藤原 逸樹	安田女子大学	教授	幼稚園教育実技研修
堀田 龍也	玉川大学	教授	ICT 授業活用実践研修
正高 信男	京都大学	教授	特別支援教育コーディネーター研修（新任・経験者合同）
松浦 武人	広島大学	准教授	小学校算数科授業改善研修（発展）
松尾 千秋	広島大学	教授	中・高等学校保健体育科授業改善研修
松田 文雄	松田病院	院長（医師）	学校保健研修
三熊 祥文	広島工業大学	教授	高等学校英語科授業改善研修
水中 誠三	水中・三崎法律事務所	弁護士	学校運営推進リーダー育成研修
三根 和浪	広島大学	准教授	小学校図画工作科授業改善研修 中・高等学校美術科授業改善研修
三村 真弓	広島大学	教授	小学校音楽科授業改善研修 中・高等学校音楽科授業改善研修
森 美喜夫	広島市医師会	医師	学校保健研修
山根 英幸	県立広島大学	教授	教職経験2年次教員研修
脇坂 徳男	株式会社イズミ	執行役員人事 総務部長	学校運営推進リーダー育成研修
渡部 徹	特別支援教育士 スーパーバイザー		特別支援教育コーディネーター研修（新任・経験者合同）
渡部 佳美	広島女学院大学	准教授	「食に関する指導」に係る研修



編集・発行 広島市教育センター

〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号
電話(082)223-3563 F A X (082)223-3580

E-mail: center@edu.city.hiroshima.jp
外部Webページ: <http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/>
内部Webページ: <http://10.91.11.102/>